

全自動固相抽出装置「ST-L300」



(参考価格)

¥8,900,000 (税抜)

食品輸入の増大に伴い、餃子事件に代表される農薬懸念が広がるなど、食の安全安心に対する社会ニーズが高まっています。残留農薬の検査では、採取された試料を「前処理」と言われる多工程の手作業で処理した後、分析装置(ガスクロマトグラフ:GC)で測定します。この検査に対して、関連機関からは、効率化、コスト削減に対する強いニーズがあります。当社は、平成18年の創業以来、前処理を効率化する様々な機器類の開発を進め、平成20年には残留農薬用の全自動前処理装置の製造発売を開始しています。今回の全自動固相抽出装置は、その操作性を向上し、汎用性を高めた新製品で、環境関連ほか多くの分野での使用が可能です。



ここが
ポイント!

食品中残留農薬や環境分析などを効率よく、精度よく、短時間で実施できる分析技術



[企業PROFILE]

株式会社アイスティサイエンス

代表取締役 佐々野 僚一

和歌山県和歌山市黒田120-6 アソート黒田2F

Tel : 073-475-0033 Fax : 073-497-5011

 <http://www.aisti.co.jp>

企業からのひとこと!

当社は、GC用大量注入口装置(累計150台以上)、固相カートリッジ(年間1,700箱以上)の事業化を成功させてきました。これは自動前処理装置に繋がる技術であり、その装置を完成させました。本装置の販売を通じ食の安全安心に貢献します。